

2016年
11月

中国四国農政局
広島県拠点

News Letter

イオンアグリ(株)安芸高田農場での初収穫祭 — 広島初のイオン直営農場からいよいよ本格供給開始 —

11月6日（日）に広島県安芸高田市のイオンアグリ創造(株)の安芸高田農場において「収穫祭」が開催され、県内のイオン店が参加募集した親子、行政の関係者、JA関係者、イオングループの社員等が参加しました。



イオン広島安芸高田農場 （安芸高田市高宮町羽佐竹原山1919） 収穫の様子



初収穫されるキャベツ

今回収穫したキャベツは、イオンアグリ創造(株)が、広島県内で初めて開場した直営農場「イオン広島安芸高田農場」で栽培されたものになります。

当日は、肌寒い天候の下、参加者はぬかるんだ圃場に足をとられながらも、農場担当者から手渡された包丁を持って、大きな玉を選んで収穫しました。参加者一同、収穫の喜びを感じていました。

「イオン広島安芸高田農場」では、約、12haの農地に、キャベツや白菜、ブロッコリーなどを生産し、イオン系列の店舗に出荷されます。

平成28年度重大な動物感染症(高病原性鳥インフルエンザ) 地域防疫演習

中国四国農政局広島県拠点、広島県西部畜産事務所が主催した「平成28年度重大な動物感染症（高病原性鳥インフルエンザ）地域防疫演習」に参加しました。



机上訓練の様子

この演習は、重大な動物感染症発生時の感染拡大を防止するため、各関係機関と実際に作業にあたる県職員がそれぞれの役割を把握し自発的に行動できる体制の構築に向け、広島県、市町、畜産関係団体が参加し、実施されています。



車両消毒の様子



ポンプ操作の練習



仮設トイレの設置

今回、西部畜産事務所では、管内の養鶏農家において鳥インフルエンザが発生したとの想定に基づき、健康診断、消毒、殺処分の各セクションに分かれ、実践的な演習が行われました。この演習で出た様々な課題に対しては各セクションで、手順の改善、人員の見直し等を行うとのことであり有意義な演習でした。

編集：中国四国農政局

広島県拠点 〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 TEL (082)228-5840 FAX(082)228-5817
広島合同庁舎2号館6階

福山駐在所 〒720-0017 福山市千田町2-5-30 TEL (084)955-1951 FAX(084)955-1953

<農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから) <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>